

日刊 動労千葉

84.1.21
No.1544

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五～六（公衆）〇四七二二七二〇七

各界からの 連帯のあざむき 動労千葉 団結旗びらき 報告3

十八年間の闘いの全てをにかけて
二期を阻止する

（三里塚芝山連合空港反対同盟
北原事務局長）



あけましておめでとうございます。
反対同盟は一月八日、岩山記念館に
おいて、かつてない盛大な旗びらきを
かちとり、反対同盟の勝利の展望がま
すます鮮明になってきたと自信を深め
ております。過去最大で一八〇名位の
ところが今年には動労千葉の労働者をは
じめ、最大の三五〇名もの仲間が結集
しました。

八三年は闘いの連続でした。四月の
全国の地方選、そして十二月の衆院選、
この中で今回第二次中曽根内閣は千葉
県二区から二名の大臣を出しました。
農林水産大臣が山村、建設大臣が水野
という、かつて千葉県から二名もの大
臣が出たということは歴史にありませ



反動中曽根内閣と徹底対決する

（社会党千葉県本部・県議
市川福平副委員長）

昨年、統一地方選、参院選、年末
の衆院選と、皆さま方の絶大なご支援
をいただきました。社会党は不十分で

ん。それは何を意図してのことなのか。
しかも、ラスベガスでのトバク行為で
最も悪名高い浜田幸一が建設委員長と
して登場してきているわけです。

これはまぎれもなく二期推進のため
の内閣改造であります。八四年はま
す二期着工にむけて重大な時機が到
来してきております。この情勢を見
えて、三里塚はどう闘うのか、反対同
盟十八年の闘いの原点を死守して、全
国の住民闘争の先頭に立つて闘わねば
なりません。われわれは十八年間、反
動の体制と真正面を闘い、逮捕もおそ
れず、血を流すことをもおそれず、空
港絶対反対・農地死守を闘いぬいてき
ました。この重要な一翼をになつてき
たのが動労千葉の労働者の皆さんでし
た。どんなに厳しくとも闘うからこそ
労働者であり、闘わないものは労働者
とはいえません。

八三年、首尾われわれが勝利してき
たように、八四年も絶対に勝利しなけ
ればなりません。三里塚を勝利し、そ
して真の労働者解放のたたかいをかち
とつていくのは、このような動労千葉
の労働者の闘いにかかっているという
こと、全国の労働者の共感を注目の中
にあるのだということを確認していた

はありますが一定の前進をかちえるこ
とができました。心からお礼申し上げ
ます。
それにいたしましたとしても、「減税」を
約束しておきながら一方では大変な増
税をやるといふ——この中曽根内閣の
政治姿勢は大変悪どいものであります。
労働者に対しては人員整理—首切り
という事を公然と叫び立てており、生
活破壊・人権侵害が激化すると思われ
ます。これに対して断固とした闘いこ
そが必要であります。
県政では、おかげさまで九名の当選

だきたいと思えます。
八四年、動労千葉と共に闘いぬいて
いくことをお約束して反対同盟からの
ごあいさつにかえたいと思えます。



動労千葉と敷地内農民と共に闘う

（顧問弁護士・葉山岳夫弁護士）
弁護団を代表いたしました。新年の
ごあいさつを申し上げます。本日は清
井弁護士も参加しております。

本日の旗びらきに参加いたしました。
一九七八年、九年の動労千葉の分離・
独立の段階のころを思い浮かべ、この
闘いと方針が全く正しかったというこ
とをしみじみと確信する次第です。動
労中央・革マルの全くの裏切り路線、
そして「三里塚と一線を画せ」という
誤った方針に断固対決し闘いぬいてき
た動労千葉の路線の正しさが、今、こ
こに、日本の労働運動の中軸をなす国
鉄における動労千葉の位置という形で
明確にあらわれています。このような
動労千葉への当局の不当弾圧、動労中
央からの攻撃に対し、私たち弁護士は、
動労千葉と三里塚の敷地内農民を守り、
闘いを発展させるため本年も全力で闘
いますのでよろしく願います。

をもつて社会党が野党第一党の責任を
果たす状況にたちかえりました。がん
ばつて闘つてまいる決意です。さらに
三里塚空港建設問題についても、国家
権力・警察権力の大変不当な動きが今
まで続けられてきたし、これからも執
権にそれが出てくるであろうと考えて
おりますが、私たち社会党本部とし
てもそのような不当な動きに対して断
固闘いぬいていきたい、そういう決意
を申し上げます。今後とも動労千葉
の皆さま方と共に闘いぬいていく決意
といたします。



真剣な訴えは必ず闘いを生む

全関西実行委員会

永井 満 氏

あけましておめでとうございます。私達住民という立場から、過去十六年間にわたって関西新空港に反対し、また三里塚の闘いに加ってききました。そういう中で、本当に闘いぬく動労千葉の皆さんにお目にかかれたことは本当に幸であったと思っております。皆さんのあのジェット闘争をはじめ数々の闘争、動労「本部」のあのまことに理不尽きわまりない暴力をふりかざしての「オルグ」と称する襲撃をも敢然とはね返し、組織を守り、こうして動労千葉として固く結束して闘いぬいておられる姿は、私たちにとりましても

社会党議員団

衆議院 (千葉一区) 上野建一氏

皆さま方の熱いご支援で今回千葉一区で念願の議席回復をさせていただきました上野でございます。ありがとうございます。ございました。

「与野党伯仲」の状況を十二分に生かして闘う中から、国鉄にかけられた「民営・分割」等の厳しい合理化攻撃に対して反撃していく年にしたい、その一翼をになつて一生懸命がんばることをお誓い申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

衆議院 (千葉二区) 小川国彦氏

熱いご支援をいただき四選をかちとらせていただき、ありがとうございます。国会は、新自由クラブの自民党への寝がえりによって本当の意味での「保革伯仲」となっています。次の

本当に大きな模範であり、「動労千葉のように闘おう」というのが単に労働組合だけではなく、私たち住民にとっても又一つの目標でもあります。

昨年は、わが国の右傾化が一段と進み、戦争の足音が本当にひたひたと迫ってくる思いの年でありました。そういう状況に対決して私たちは、北原さん、長谷川さん、中江さんの選挙を闘い大きな勝利をおさめ、九月には東大阪で部落解放同盟荒本支部の瀬川支部長があらゆる妨害をはねのけ、反戦・反核・中曽根打倒をにかけて闘い、みごと高位当選をはたしました。私は街頭で応援演説などさせていただきましたが、本当に民衆の熱いまなざしというものをひしひしと感じました。やはり、自民党・中曽根政権の危険な体質と政策に対する広範な国民の不安・批判というものがこうした選挙、とりわけ昨年暮の総選挙での自民党大敗という中にもあらわれたと思います。例えば私も街頭に立ち、カンパを訴えたわけですが、年輩のご婦人があるいは壮年の方たちがどんだん千円札を、またある人は一万円札を入れていつてくれ

闘いで「伯仲」から「逆転」へと追い上げようではありませんか。それは、この一年間を予算、減税、国鉄合理化問題等々で中曽根内閣と対決して徹底的に闘いぬくことであると思います。私も国会であるいは地域の諸闘争を皆さんと一緒に力いっぱい闘いぬいていきたいと思えます。



ました。田舎町です。人口一万人位。こういう大都会とちがって、役場の前の橋の上で、しかも町の人たちが見ているそういう中でカンパをやってくれるんです。 私たちが本当に心から関西新空港のこと、三里塚二期阻止のことを真剣に訴え、反戦・反核を訴えると必ず真剣に応えてきてくれるのです。

こういう姿を見ると、今の状況下でも本当に闘いぬこうとする者への国民大衆の熱い期待と闘いの力を私は強く感じたわけです。

今の右よりに流されていく多くの労働組合を見ていると、こんなことで大丈夫なんだろうかという不安をおぼえますが、そんな中で、動労千葉の皆さんが原則を堅持して犠牲をおそれず敢然と闘っておられる姿こそ私たちが本当に上げまし、勇気をかきたててくれるものです。

一九八四年のへき頭から、厳しい状況をも突破して闘い進んでほしいと思えます。微力ではありますが、私たちも皆さんと心をつなげて闘いぬくことをお誓い申し上げます、ごあいさつといたします。

参議院 (千葉地方区)

糸久八重子氏

八四年が動労千葉の皆さま方にとって躍進の年でありますようお祈り申し上げます。

ここに参ります間、ある街道筋で大変異様な風景を見ました。一つの集落、三〇軒あまりありましたが、軒なみに日の丸の国旗をかかげていました。私は戦中の人間ですから、日の丸があるなになんて立っていると本当に戦争中のことを思い出してゾッとします。おそらく町当局が町内会を通じてやらせているのではないかと思います。

このように戦前回帰の動向が強くなつていく中で、どうしてもこの軍事大国化を阻止していかねばならない大事なときであります。再開される国会は予算国家であります。労働者や弱者にしわ寄せしながら軍事大国化に進む自民党・中曽根内閣に対して大きな打撃を加えていくためにがんばっていきたく思います。